

# ハロー インフォメーション

2011年12月

133号

NTT東日本からのお知らせ

NTT東日本ホームページ  
<http://www.ntt-east.co.jp/>



## ユニバーサルサービス料の変更について

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

NTT東日本では、110番や119番などの緊急通報、公衆電話、山間部や離島を含めた固定電話通信などのユニバーサルサービスを、いつでも、どこでも、誰もが利用可能な料金でお客さまにご利用いただけるように、通信網の維持・保守に取り組んでいます。このユニバーサルサービスを維持するために、平成19年1月より各電話会社が「ユニバーサルサービス支援機関\*1」を通じて費用を出し合う「ユニバーサルサービス基金制度」がスタートし、平成23年2月からは、お客さまに、1電話番号当たり月額7円(税込7.35円)のご負担をいただいております。

NTT東日本は従来から経営効率化に取り組み、人件費や経費の削減など、あらゆる費用を対象に大幅なコスト削減を実施しておりますが、近年のユニバーサルサービスを取り巻く環境は、

- ①携帯電話の普及拡大および都市部を中心としたIP電話や他事業者が提供する固定電話サービスとの競争の進展
- ②従来、NTT東日本・NTT西日本と接続事業者が応分に負担してきたコストの一部を、基本料コストに付替えるという制度変更\*2

など大きく変化しており、その結果、ユニバーサルサービスの収支は平成22年度で▲595億円の赤字となっております。

一方、ユニバーサルサービス基金制度により支援される額は、実際のサービス提供に要した費用を用いて算定するのではなく、長期増分費用モデル\*3に基づく費用で算定しており、かつ、加入電話については、著しい高コストの地域に対象が限定されていることなどから、実際の赤字の一部となっております。

今般、当該モデルに基づき算定されたユニバーサルサービス基金制度により支援される額が、契約回線数の減や上記制度変更などにより減少したことに伴い、ユニバーサル

サービス支援機関が定める各電話会社の1電話番号当たりの負担額(番号単価)は、平成24年1月より月額7円から5円に見直されることとなりました。これに伴いまして、現在お客さまにご負担を頂いている「ユニバーサルサービス料」についても、1電話番号当たり月額5円(税込5.25円)に変更させていただきます。

平成23年3月に発生した東日本大震災では、多くの通信ビル・設備が被災しましたが、通信設備の迅速な復旧につとめるとともに、被災地や避難施設および帰宅困難者の連絡手段の確保等の被災者支援に積極的に取り組み、ユニバーサルサービス提供事業者としての責務を果たしてまいりました。

NTT東日本は、基金制度の下で、今後もユニバーサルサービスの維持につとめてまいります。みなさまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

- \*1 社団法人電気通信事業者協会が総務大臣より指定されています。
- \*2 平成17年度から交換機コストの一部を段階的(平成22年度は5分の5)に基本料コストに付替えるものです。なお、このコストのうち、き線点RT(メタルケーブルに収容する電話などの通信を加入者交換機まで光ファイバで伝送するための多重化装置)から加入者交換機間の伝送路の一部費用については、平成20年度より基本料コストから段階的(平成21年度は5分の3、平成22年度は5分の4)に交換機コストに戻すこととされております。
- \*3 通信網の費用を実際の費用発生額ではなく、現時点で利用可能な最も低廉で最も効率的な設備と技術で新たに構築した場合の費用額に基づいて計算する方式。

## ①料金額 [1電話番号当たり月額]

	現行	変更後
ユニバーサルサービス料*4・5	7円(税込7.35円)	5円(税込5.25円)

- \*4 ユニバーサルサービス料は、ユニバーサルサービス支援機関が定める番号単価と同額です。
- \*5 適用する電話番号は、加入電話サービス、総合デジタル通信サービス(ISDN)、ひかり電話サービスなどの契約者回線に係る電話番号およびダイヤルイン、i-ナンバー、マイナンバー、二重番号、フリーアクセス(0120、0800から始まる電話番号)、ダイヤルQ<sup>2</sup>(0990から始まる電話番号)などの付加サービスに係る電話番号です。

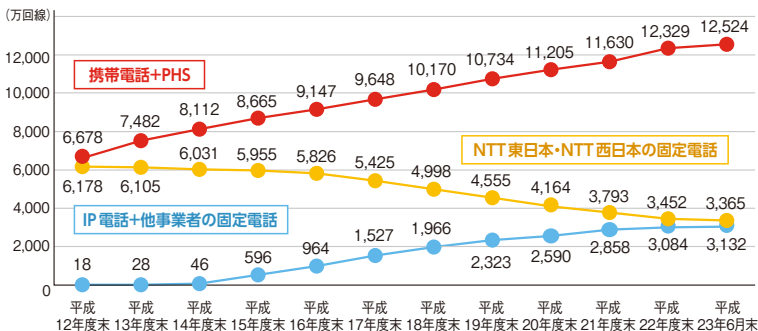
## ②実施時期 平成24年1月1日(日)

- ③その他 支援機関が定める番号単価については、社団法人電気通信事業者協会のホームページ(<http://www.tca.or.jp/universalservice/>)において公表されています。

## 固定電話回線数などの推移

携帯電話の普及拡大および都市部を中心としたIP電話や他事業者が提供する固定電話サービスとの競争の進展により、NTT東日本・NTT西日本の固定電話が減少しています。

### 携帯電話・IP電話・固定電話などの回線数の推移

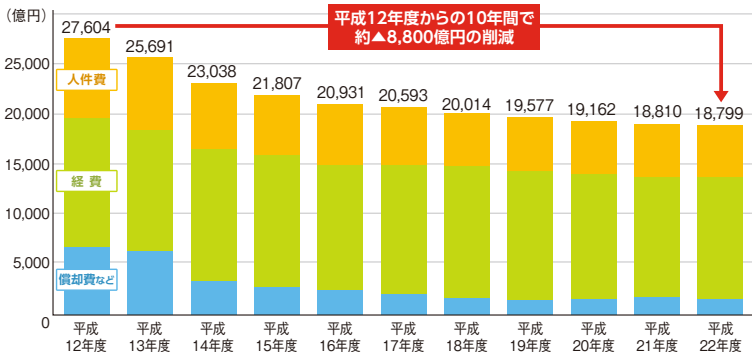


※総務省の公表資料をもとに作成 ※固定電話は、加入電話とISDNの合計  
 ※IP電話は、050番号と0AB～J番号によるものの番号数の合計  
 ※数値は、NTT東日本・NTT西日本エリアの合計

## 平成22年度に実施したNTT東日本の経営効率化

平成22年度についても一層の経営効率化に取り組み、大幅なコスト削減を実施しており、平成12年度からの10年間で約▲8,800億円の費用を削減しています。

### 営業費用の推移



## 平成22年度におけるNTT東日本のユニバーサルサービス収支の現状

収益の減少による収支の悪化をコスト削減で補うよう取り組み、対前年で51億円の収支改善につとめましたが、従来、NTT東日本・NTT西日本と接続事業者が応分に負担してきたコスト(NTSコスト\*1)の負担方法の変更に伴う基本料コストの影響などにより、平成22年度におけるユニバーサルサービス収支は▲595億円の赤字となっています。

なお、平成22年度決算において計上した東日本大震災に係る災害特別損失191億円のうち、ユニバーサルサービス相当50億円を営業費用に含めた場合の営業利益は、前年度と同程度の▲644億円の赤字となっています。

\*1 NTSコスト(Non-Traffic Sensitive Cost)とは、交換機設備のうち、通信量の増減によって変化しない装置のコストを指します。

サービス名	平成21年度			平成22年度			災害特別損失の影響考慮後の営業利益
	営業収益	営業費用	営業利益	営業収益	営業費用	営業利益	
加入電話・基本料	3,702億円	4,318億円	▲616億円	3,364億円	3,933億円	▲569億円	▲618億円
第一種公衆電話(市内、離島通信)	11億円	37億円	▲26億円	10億円	32億円	▲22億円	▲23億円
緊急通報	-	3億円	▲3億円	-	3億円	▲3億円	▲3億円
ユニバーサルサービス計	3,713億円	4,358億円	▲645億円	3,374億円	3,968億円	▲595億円	▲644億円

+51億円の収支改善

## NTT東日本へのユニバーサルサービス基金制度による支援額

支援額は、実際のサービス提供に要した費用を用いて算定するのではなく、長期増分費用モデル\*1に基づく費用で算定しており、かつ、加入電話については、著しい高コストの地域に対象が限定されていることなどから、今年度のNTT東日本への支援額は、ユニバーサルサービスの実際の赤字▲595億円(災害特別損失の影響考慮後の赤字▲644億円)の一部である、65億円が支援されることとなります。

サービス名	平成22年度の営業利益	(参考) 災害特別損失の影響考慮後の営業利益	基金による支援額
加入電話・基本料	▲569億円	▲618億円	44億円
第一種公衆電話(市内、離島通信)	▲22億円	▲23億円	20億円
緊急通報	▲3億円	▲3億円	0.4億円
合計	▲595億円	▲644億円	65億円

### 長期増分費用モデルに基づき算定

支援額の算定は、実際にかかったコストではなく、長期増分費用モデルを用いることにより、現時点で利用可能な最も低廉で最も効率的な設備と技術で新たに構築した場合のコストとなっています。

### 支援対象の地域と費用の絞り込み

加入電話(基本料・緊急通報)の支援対象は、著しい高コストの地域\*2に限られており、さらに加入電話・基本料の支援される費用の範囲は、著しい高コストの水準\*3を上回る部分に限られています。

支援を受けても残りの赤字(▲530億円)は  
NTT東日本自身が負担

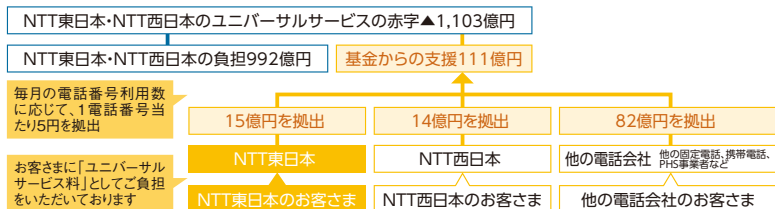
\*1 通信網の費用を実際の費用発生額ではなく、現時点で利用可能な最も低廉で最も効率的な設備と技術で新たに構築した場合の費用額に基づいて計算する方式。

\*2 全国の加入数の4.9%の地域とされています。\*3 平均コストに標準偏差の2倍を加えた額とされています。

# 「ユニバーサルサービス料」の変更

ユニバーサルサービスの維持に必要な費用を賄うための各電話会社の1電話番号当たり負担額(番号単価)が平成24年1月から月額5円に変更されることとなりました。これに伴いまして、現在お客さまにご負担を頂いている「ユニバーサルサービス料」についても、1電話番号当たり月額5円(税込5.25円)に変更させていただきます。

## ユニバーサルサービスコストの負担について



※事業者別の拠出額は、平成23年6月末の電話番号利用数に基づく試算値です。

NTT東日本は、基金制度の下で、今後もユニバーサルサービスの維持に努めてまいります。みなさまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

日本全国の通信を守るためには日々の作業が欠かせない

被災した電柱・ケーブルの復旧を行う

雪の重みでケーブルが切れないよう除雪作業を行う

毎日の通信網の維持が島の孤立を防ぐ

ユニバーサルサービスに関する  
くわしい情報はこちら <http://www.ntt-east.co.jp/univs/>

電話に関する  
お問い合わせ・  
お申し込み

「116」 携帯電話・PHSからは「0120-116-000」 営業時間：午前9時から午後9時まで  
土日・祝日も営業(年末年始を除きます)

ホームページ「Web116.jp」においても、NTT東日本の各種商品、サービスの注文受付や最新情報の提供を行っています。 <http://web116.jp/>

NTT東日本に関する  
ご意見・ご要望

お客さま相談センター 「0120-019000」 営業時間：午前9時から午後6時まで  
(土日・祝日および年末年始を除きます)

<https://www.nmrs.ntt-east.co.jp/user/>

※本紙には、サービスごとの消費税込みの総額を表示しておりますが、複数のサービスをご契約のお客さまにおかれましては、お手元で計算された額と実際の請求額が異なる場合がございます。  
【次号発行のお知らせ】次号ハローインフォメーションは1月発行予定です。 K11-03286【1112-1201】



※本紙は森林資源保護のため、FSC™認証紙に印刷しております。